

長野駅で新駅ビル開発に着手します

JR東日本は、新幹線金沢延伸による長野駅の拠点性の高まりや延伸開業に向けて長野市が進める善光寺口駅前広場整備に合わせて、“信州”の魅力を集約・発信する駅ビル開発に着手し、駅を中心とした魅力あるまちづくりに貢献します。

○長野を訪れる方及び駅を利用される方や地域にお住まいの方に対する利便性の向上と、駅周辺地域の賑わい創出を目的とした駅ビルを建設します。

○長野市が設置する大庇・列柱と駅ビルを一体的に整備する等、あらたな長野の「顔」となる「駅」を実現します。

※工事中は、仮囲いの設置、ミドリ口改札や店舗の閉鎖等、ご迷惑をおかけいたしますが、ご理解・ご協力をお願いいたします。

1. 新駅ビルの概要

【別紙1、別紙2参照】

①特徴

- ・高い知名度を持つ「信州ブランド」の提供を通じた情報発信と地域の暮らしをサポートする魅力的な店舗を配置することで、駅の利便性向上と街のさらなる魅力向上を図り、地域活性化に取り組みます。
- ・駅周辺の回遊性向上を目的に、新駅ビルと長野市の歩行者デッキ、既存駅ビル「MIDORI長野店」及び「ホテルメトロポリタン長野」との接続を図ります。
- ・長野市が善光寺口駅前広場整備とともに本設化する自由通路と新駅ビルを一体的に整備します。
- ・新駅ビルの外観は、格子をモチーフにしたデザインとする等、長野市が設置する大庇・列柱と調和したデザインとします。
- ・自由通路路上に設置する新駅ビルのエントランスは、信州の玄関口に相応しい明るく賑わいのある吹き抜け空間とします。
- ・新駅ビル内には、地域情報発信や地域の皆さまのご利用を想定した多目的のコミュニティスペースを設置します。
- ・駅前交番、公衆トイレを新駅ビル1階に配置する等、公共機能の確保を図ります。
- ・自由通路本設化に伴い、びゅうプラザの移設等、駅施設の再配置を行います。

②建物概要

新駅ビル：地上3階、延床面積約9,600㎡

駐車場：地上4階、延床面積約8,000㎡、約310台

③運営会社：(株)ステーションビルMIDORI

2. スケジュール（予定）

- ・工事着手：仮設工事 2013年1月下旬
 本体工事 2013年4月
- ・一部オープン：2014年秋頃
- ・全面オープン：2014年度末

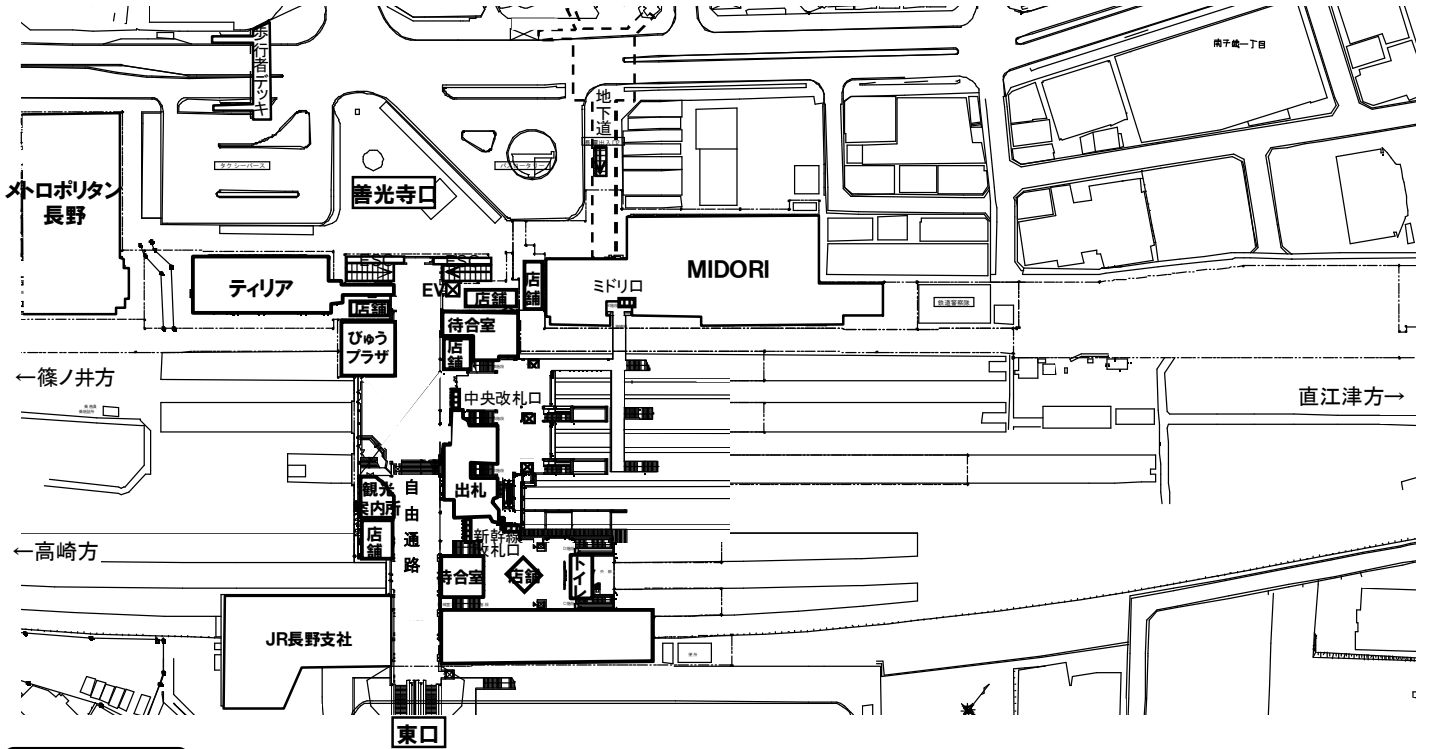
※現時点での計画であり、今後の状況により変更となる場合があります。

〔お問い合わせ〕

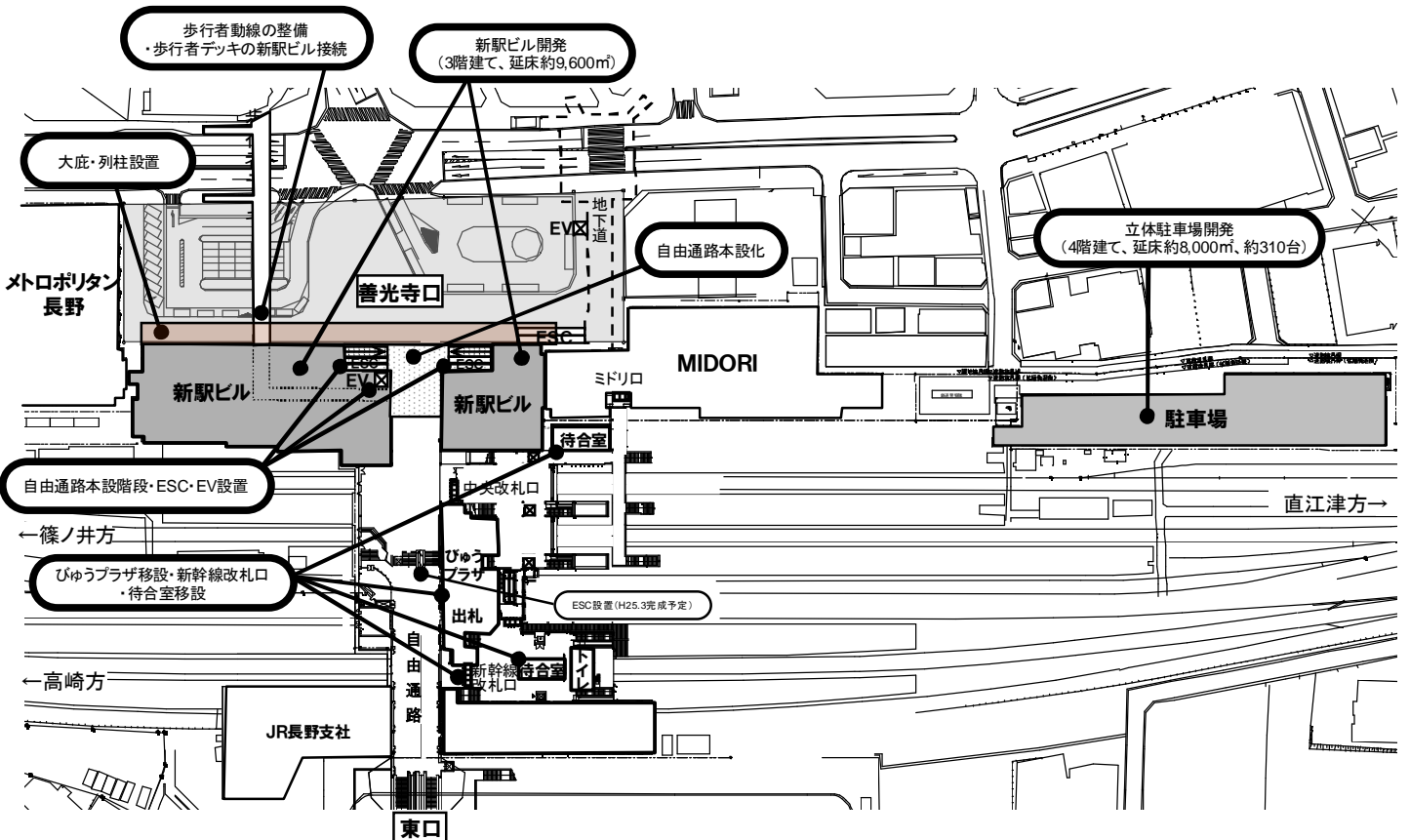
東日本旅客鉄道(株) 長野支社

総務部 企画室 電話 026 (224) 4654

現状図



計画図



1. 新駅ビル外観イメージ



(注) イメージパースであり、変更になる可能性があります。

2. 新駅ビル・エントランスイメージ



(注) イメージパースであり、変更になる可能性があります。

3. コミュニティスペースイメージ(新駅ビル3階、自由通路上部)



(注) イメージパースであり、変更になる可能性があります。